

真室川小学校 河川愛護モニターだより

真室川小学校の児童から国交省鮭川出張所への質問と、出張所の回答をご紹介します。

質問① 洪水で流れてきた河原の木などは、だれがどのようにして取り除くのですか。また、取り除いた木は、どうするのですか。

鮭川出張所の遠藤さんに頼まれて、工事のお兄さん達が片付けました！



工事の
加藤さん

鮭川出張所
遠藤さん



大きな木は力持ちのクレーンで！



機械が入れないところは
手作業で片付けます



かぎ爪のついた機械でゴミをつかみます

みんなが安心して川に来られるようにするのも、鮭川出張所の大切な仕事です。洪水で流されてきた木やゴミは、工事のお兄さん達に片付けをお願いしました。7月8日の大雨のあと、水辺の楽校の片付けに**6人がかりで3日**かかりました。片付けた木などは、みんなの家から出るゴミと同じように、ゴミ処分場へ持っていき、燃やします。7月は、鮭川、真室川、金山川で**合計約90トン(大人1,500人分の重さ！)**のゴミを回収しました。

質問② 体育の授業で、水辺の楽校を走ることができませんでした。早く元通りになるといいです。

工事の加藤さん



がんばって直しています！

洪水で道がボロボロに……



壊れた部分を取り除きます



もう一度舗装するため、大きなローラーで道を平らにします